

1996年、帯広の森の一角に、国際協力と国際交流の拠点となる「JICA北海道国際センター(帯広)」と「森の交流館・十勝」が開設され今年で20周年を迎えました。JICA北海道(帯広)では、開発途上国の国づくりを担う指導的立場の外国人を受け入れ、十勝・帯広の先進的な農業技術をはじめとする各種研修の機会が提供されています。受講者は、この20年で5300人を超え、帰国後それぞれ別の国の発展に大きく貢献しています。森の交流館では、外国人と地域住民との相互理解を深める場として、外国文化を紹介する講演会や世界各国の人たちとの交流イベントなどを行っています。

こうした地域が一体となって住民の国際協力への理解促進に貢献したことが評価され、先日、帯広市はJICA理事長から「国際協力感謝賞」をいただきました。20年の積み重ねで、十勝にゆかりのある外国人は世界137カ国に広がり、それぞれの国で十勝・帯広で得た経験や技術を生かして活躍されていることは、とても喜ばしいことです。

ところで、皆さんは、外国人と接する機会がありますか。毎年夏の森の交流館で行われる十勝最大の国際交流イベント「世界のともだち」は、多様な世界に触れる絶好の機会です。言葉や文化の異なる外国人との触れ合いや、各国の珍しい伝統料理、踊りや音楽など、その全てが新鮮な体験になるのではないかと思います。

私たちは、「あの人にあつて私にはないもの」「私はこう考えるがあの人にはこう思っている」など、日頃、自分と他人との違いを感じながら生きています。その違いを、多様な個性として受け入れ、お互いに刺激し合うことで、今までなかった新たな発見や創造が生まれ、自らの成長にもつながるものと思えます。

十勝・帯広には、世界のさまざまな人たちと出会い、お互いの違いや良さを知り、多様な価値観に触れられる機会があります。これは私たちにとって、大変貴重な財産ではないかと、20年を振り返り改めて感じているところです。

国際交流が、皆さんにとって、新しい可能性を広げるきっかけになれば素晴らしいと思います。まずは「こんにちは、十勝・帯広へようこそ」から始めてみませんか。

### 市長コラム

## 夢かなうまち おびひろ

### 国際交流

帯広市長 米沢 則寿



す。こうした地域が一体となって住民の国際協力への理解促進に貢献したことが評価され、先日、帯広市はJICA理事長から「国際協力感謝賞」をいただきました。20年の積み重ねで、十勝にゆかりのある外国人は世界137カ国に広がり、それぞれの国で十勝・帯広で得た経験や技術を生かして活躍されていることは、とても喜ばしいことです。



## カメラレポ Obihiro Camera Report

### 過去最多5199人が市内を駆け抜けた



晩秋の青空の下、今年で5年目となるフードバレーとかちマラソンに過去最多の5199人が出場し、親子からお年寄りまで幅広い年代がそれぞれのペースで市内を駆け抜けました。ハロウィーンの前日でもあり、野菜などの着ぐるみや人気キャラクターに扮する人など、思い思いの衣装で参加する人も多く見られました。約800人のボランティアが給水所などでランナーをサポートしたほか、沿道には、地域住民や近くの店舗の従業員が応援に駆けつけ、大声援でランナーを後押ししました。(10月30日、競馬場通りほか)



ランナーをねぎらうボランティアたち

米沢市長が市内8カ所の地域に向く、地区懇談会が開催され、第1回目は31人の市民の皆さんとまちづくりについて意見交換を行いました。



### 市長と語る「夢かなうまち おびひろ」地区懇談会

今年度は、「どうやっているの?おびひろの除雪」をテーマに、除雪の現状や課題を説明し、皆さんからは「地区によって仕上がりに差がないよう除雪作業の検証が必要」など、貴重な意見が寄せられました。(10月29日、図書館)

### 森のハロウィーン2016



子どもたちが楽しみながら外国文化や英語に触れられるこの人気イベントに、今年も多く親子連れが訪れました。

簡単な英語を交えた影絵の上演では、物語の鍵となる英語のパスワードを子どもたちが大きな声で唱えていました。仮装コンテストでは、集まった子どもたちがお気に入りの仮装をお披露目していました。(10月30日、森の交流館・十勝)

#### 市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ (毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

#### 広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問 広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)

広告